

和暦の西暦換算は国立天文台暦計算室により、月日不明の場合は、原則、新暦3月20日を基準とした。

頁-P、行-L	正	誤
P(9) L13	ルビ(ためとき)	(ためじ)
P(10) L2	新装版 1985年	新装版 1980年
P(11) L3	示そうとする	示しそうとする
P(12) L2	治安元年	治安三年
P(12) L12	新装版が 1985年	新装版が 1980年
P(14) L15	新装版 1985年	新装版 1980年
P 3 L1	ルビ(ぎょうかしゃ)	ルビ(ぎょうしゃ)
P 3 L5	ルビ(さんに)	(さんみ)
P 7 L4	ルビ(こしらかわどの)	(しょうしらかわどの)
P12 L9	二后冊立	二后鼎立
P16 系図	明子	暁子
P21 L2	貞元二年生(978)	天延六年生(976)
P21 L3	ルビ(ぞうしき)	(けぞうしき)
P22 L1	長保三年(1001)	長保五年(1001)
P31 L1	貞観十一年(869)	貞観十一年(968)
P35 L6	ルビ(さんに)	(さんみ)
P38 L7	起きたことから	起きることから
P41 L11	ルビ(さんに)	(さんみ)
P41 L12	応に免すべき	広免すべき
P45 L10	藤木吉至る。上、皆で邦人を	藤木吉、上に至る、皆で邦人を
P49 L13	左大臣(道長)	左大臣左大臣(道長)
P51 L7	治安元年(1021)	治安元年(1020)
P53 L17	影子の後宮の	「影子の後宮の」重複
P54 L17	たのむかな いのるころの	たのむかない のるころの
P54 L12	(おもはやどり)	(ごもはやどり)
P59 L15	長保五年(1003)	寛弘元年(1003)
P87 P7	結婚生活について	結婚生活について
P91 P9	承知した上での	承知した上での
P92 P6	長徳三年(997)	長徳三年(998)
P121 L17	藤木吉至る。上、皆、之を	藤木吉、上に至る。皆、之を
P135 L11	左の袖(左衛門)	左の袖(左近衛門)
P147 図㊸	奉行	奏行
P164 L15	永延二年(988)	永延二年(987)
P180 L14	夷 62 番歌	夷 62 番

頁-P、行-L	正	誤
P180 L16	何様のつもりなの	何様つもりなの
P181 L5	57 番歌	57 蕃歌
P182 L14	吉川弘文館、1985年	吉川弘文館、1980年
P184 L14	法華三十講結願の翌日	法華八講の翌日
P185 L12	1985年改訂版	1986年改訂版
P190 L6	成立事情「日本文学研究」11号	成立事情「11号
P211 L15	文暦二年(1235)	文暦二年(1236)
P217 L7	新装版 1985年	新装版 1980年
P217 L10	長和二年(1013)	長和二年(1014)
P224 L5	長和五年(1016)四月二十九日	長和五年四月二十九日 (1015)
P232 L12	思いがしたはずだ	思いがしてはずだ
P234 L3	とおりでである(序章・中関白家…)	とおりでである(第十一章・中関白家…)
P234 L9	新装版 1985年	新装版 1980年
P270 L3	長元三年(1030)	長元三年(1033)
P270 L9	長元元年(1028)	長元元年(1027)
P270 L10	長元五年(1032)	長元五年(1035)
P272 L5	<柴式部日記、暁景気>	<柴式部日記、暁景気>(宣秋門院任子)
P272 L15	文暦二年(1235)	文暦三年(1236)
P282 L7	11月30日	11月25日
P282 L8	14.7、ほほ満月の深更	14.7、ほほ満月に向かう深更
P288 L15	大宮后(影子)女房	大宮后大宮后(影子)女房
P290 L13	すべし」と	すべ」と
P302 L10	天延二年(974)	天延三年(974)
P304 L10	天永三年(1112)	天永三年
P342 L3	補配されたものである	補配されものである。
P347 L22	『一輝と吟吉—北兄弟の相剋』	『北一輝と佐渡—北兄弟の相剋』
P367 L13	新装版 1985年	新装版 1980年
P373.4 下段	小兵衛 (372頁に名寄せ)	
P37.4 下段	小兵部 (373頁に名寄せ)	